

## 博報堂D Yグループのキューワークス、サービス業向けタスク管理チャットツール「Cueworks（キューワークス）」を開発、本日より提供開始

博報堂D Yグループの株式会社キューワークス（本社：東京都港区、代表取締役：西村康朗、以下キューワークス）は、この度、サービス業の現場の為にデザインされたタスク管理チャットツール「Cueworks（キューワークス）」を開発し、本日より提供を開始いたします。



＜本サービスのアプリと管理画面のイメージ＞

キューワークスは「コミュニケーションツールからチームワークを刷新する」というビジョンの下、現場を見える化し、効率的な稼働を実現するチームコミュニケーション／マネジメントツールの開発、クラウドプラットフォームを活用した業務用ソリューション開発およびコンサルティングサービスの提供を行う専門会社です。

タスク管理チャットツール「Cueworks（キューワークス）」は、「現場管理の負担を減らしたい」「主体的に動けるスタッフを増やしたい」「チームの生産性を高めたい」など、サービス業の現場ニーズに応えるために生まれたチャットツールです。特許取得（特許第6268668号）の独自メソッド※1で、スタッフの主体性を引き出し、現場管理の負担を減らします。

サービス業の現場でスタッフが今やるべきことを、チャットツール内の「キュー」というカードに起票し、スタッフ全員と共有。業務全体の進行状況をスタッフ全員が理解し、自分が今やるべきことを見つけ、主体的に行動を起こしていく事が可能になります。イベント運営やホテル、レストラン等の大規模施設でのゲストコントロールなど、スタッフ同士が離れて仕事をする現場でのやりとりや、タスク管理にご活用いただけます。

サービス料金は、初期費用 30 万円（2018 年 9 月末まで初期費用無料）、月額利用料 1 組織（10 名分）10 万円から、利用人数に応じてメニューを用意しています。

株式会社キューワークスは今後も、生産性向上のための多様なチームコミュニケーション／マネジメントツールを開発し、新たな働き方を提案してまいります。

※1「特許取得（特許第 6268668 号）の独自メソッド」とは

チャットでのやりとりは、コメントが増えるとタイムラインの中に用件が埋没してしまい、現場での活用が難しいとされてきました。Cueworks（キューワークス）は、To-Doリストとチャットを一体化した「タスクチャット™方式」を採用。用件を「キュー」というカードにまとめてスタッフと共有でき、その進捗が色でわかるので、誰がどのタスクに対応しているかがひと目で把握できます。しかもそのタスクが完了したら、起票者はスタッフのTo-Doリストからキューを消すことが可能。これによってスタッフ全員で現場の残タスクをゼロにしていきます。

### <利用イメージ例>



① 今やるべきことを「キュー」に起票してスタッフと共有。



② 誰がどのタスクに対応・完了したのかひと目で把握できる。



③ 各自がやるべきことを取捨選択して対応。主体的に動くことが可能に。

■株式会社キューワークスについて

会社名：株式会社キューワークス

資本金：1億2000万円（資本準備金含む）

所在地：〒107-0052

東京都港区赤坂6-1-20 国際新赤坂ビル西館8階

役員：代表取締役 西村康朗

取締役 大倉誠一

取締役 向野宏幸紀

取締役 白石葵

<https://cueworks.co.jp/>

※株式会社 キューワークスは、博報堂D Yグループ横断社内公募型ビジネスアイデア募集・育成プログラム「AD+VENTURE（アド+ベンチャー）」から生まれた社内ベンチャーです。博報堂D Yホールディングス傘下の出資目的子会社であるAD plus VENTURE 株式会社が設立いたしました。

【参考】「AD+VENTURE（アド+ベンチャー）」について

2010年に、博報堂D Yホールディングスが事業会社である博報堂、大広、読売広告社、博報堂D Yメディアパートナーズとともに開始し、現在は博報堂D Yグループ傘下の57社を横断する社内公募型ビジネスアイデア募集・育成プログラム。

<本件に関するお問い合わせ先>

報道関係者のお問い合わせ 博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 戸田・江渡 (03) 6441-9062

事業に関するお問い合わせ キューワークス 西村 (03) 6441-9038